

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

☞ 資金繰り表を作成しよう

Q：当社は、黒字で確かに儲かっているのですが、資金繰りに苦労しています。どうすれば資金難から解消されるのでしょうか。

A：会社の儲けは損益計算書からつかむことができますが、損益計算と現金収支は違います。資金繰り表を作成してみてください。

【解説】

売掛けや買掛け、受取手形や支払手形などによる信用取引が介在するため、儲けの計算と現金の収支には、時間的ズレが生じます。この現金収支のタイミングをうまく合わせることで、資金繰りの大事な仕事ということになります。

現金を中心にして経常的な収入と支出を予想し、手形割引や借入金などを勘案しながら、支払日にまちががなく資金準備をするために「資金繰り表」を作成しましょう。これには、「前月繰越高」と各項目別の「入金予定」や「出金予定」及び「差引過不足」を記入します。入金予定が曖昧なものは少なめに、出金予定については多めに考えておいたほうが安全です。

資金繰り表の作成も、慣れてくると今月分だけでなく、翌月さらに翌々月まで見通した3カ月単位の管理ができるようになります。差し迫ったその場しのぎの資金繰りから、数ヶ月先を見通した資金管理へと変わり、また、予定と実際の数字を一覧しながら、資金不足の原因や調達方法を事後に反省することによって、資金を効率的に生かすこともできるようになるでしょう。

